

小地域座談会

今年度は4つの町区に於いて身近な人権問題、同和問題を題材にしたDVD視聴後、鳥取市人権教育推進員の田中さん、山尾さんがDVDの内容を振り返りとまとめをされました。自治会、区長さん賀露地区推進員、協力員の方にお世話になりました。参加をいただきありがとうございました。

1・2区・上浜区



1区



2区



上浜区

**「いのちに寄り添う」
～ターミナルケアと人権～**
二組の「いのちに寄り
そう」人々に密着取材。
一組目は認知症と痛を抱
える父に自宅で介護しな
がら寄り添う息子。父の
意思を尊重し、自宅で最
期を迎えるように医師、
デイサービス、地域のサ
ポートネットワークに支
えられ父は表情を取り戻
し、息子は父との関係を
つむぎなおす貴重な時間
となった。もう一組はが
ん治療しながら働く仲間
に寄り添う上司と担当
医。会社は仕事と治療を
両立できる制度を設け、
社員の多様なライフスタ
イルに対応。

参加して…
・普段の生活の中で考える
機会が無いが、自分の身
にも必ずやってくること
なのでその時どうするか
考えるきっかけになった。
・現在介護中だが、相手の気
持ちは考えることなく行
動しがちだった。これか
らは相手のことを考えて
接するようにしたい。

誰もが自分らしく誇り
高く最期まで生きられる
ように、病气や死と向き
合い正しい知識を身につ
けることは自分や大切な
人のいのちの尊厳を守る
ことと伝えます。

4区

「ともに生きる私たちの未来」 ～『部落差別解消推進法がめざすもの』～



4区

【内容】2016年12
月、部落差別解消推進法
が成立・施行されまし
た。この法律が制定され
た背景にはネット社会に
おける差別行為や人権侵
害の深刻化、いまだ存在
する部落差別がありま
す。法律の解説と部落差
別をなくすためにチャレ

参加して…
・部落差別に関わらずどん
な差別もよくないと認識
していれば少しでも解消
にちかづくことができる
のでは。
・部落差別は良い関係性を
作っていくことでしか超
えられない。その通りだ
と思う。良い関係が差別をな
くすと思う。

小地域座談会 実施状況

	日にち	参加人数
1区	2/14	20
2区	11/15	13
4区	2/20	12
上浜	11/29	12

2020年度役員

- 会長 山根 一記
- 副会長 深澤 修一
- 自治会 雁津 敏明
- 推進員 濱中 千景
網師かよ子
玉江 昭夫
森原すみ子

人権啓発
だより

賀露

第17号
賀露地区
人権啓発推進協議会
(賀露地区公民館内)
☎(0857) 28-1034

一年を振り返って

賀露地区人権啓発推進協議会 会長 山根 一記

2020年は、社会全体が新型コロナウィルス感染症の影響を大きく受けた一年となりました。その結果、当協議会の活動も大幅に制約され、年度当初の定例総会も異例の書面決議方式となりました。
また当協議会の活動も感染予防対策のガイドラインに沿って対応して



湖東ブロック推進員研修

きましましたが、講演会や研修会は延期もしくは縮小開催となり、現地研修は中止するなど、例年とは大きく異なる一年となりました。
なお各町内の小地域座談会は、開催の有無をそれぞれの町内会に一任することとなり、その結果4町内で実施していただきました。
協力員研修会はようやく11月に開催の運びとなり、「コロナが生んだ新しい日常よりよい社会をつくっていくために」と題して鳥取市人権情報センターの福壽みどりさんに講演していただきました。
新型コロナウイルス感染症に対する正しい知識と認識を持ち、感染者とその関係者の人権を大切にすることをねらいとし、コロナ差別防止に向けて学習しました。
また各町内の小地域座談会は、ターミナルケアをテーマとした「いのちに寄り添う」と部落差別をテーマとする「ともに生きる私たちの未来」のDVD研修を行いました。ただ



小地域座談会

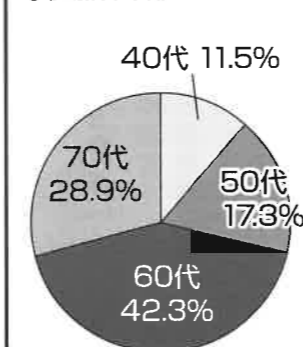
し、今年度はコロナ感染症予防対策で、DVD視聴後の意見交換ができなかったことと、各区の集会所が狭隘のため未実施となった町内も多く、コロナ禍の影響を大きく受けた結果となりました。
新型コロナウイルス感染症の早期終息を願うばかりですが、今後「ウィズ・コロナ」「アフター・コロナ」時代を見据えての「新しい日常」を視野に事業展開していかねばならないと考えています。



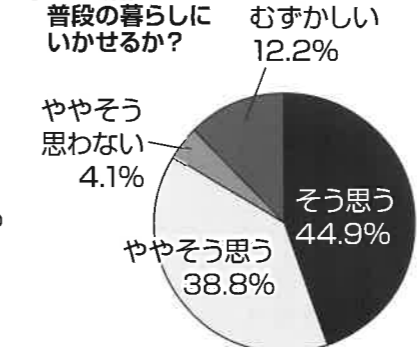
小地域座談会 アンケート結果

今年度の参加者57名の回答をまとめました。

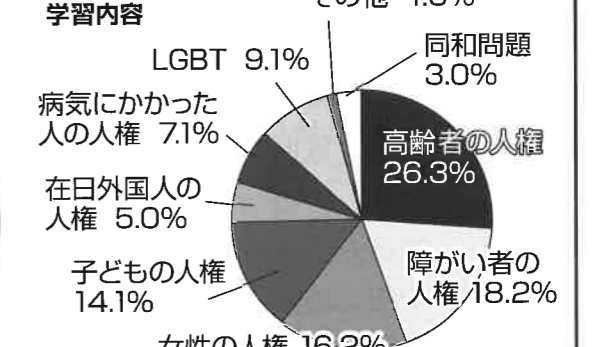
①参加者年齢



②この研修は 普段の暮らしに いかせるか?



③今後取り上げて欲しい 学習内容



その他の内容
なぜ差別が生まれるのか
どうすれば無くなるのか

公民館共催事業

国際交流

中国のお茶と日本のお抹茶を体験しよう

11/13

元鳥取県国際交流員、胡敏（フーミン）さんが中国の食事、文化、言葉、気候、衣装などを話され、ジャスミン茶、ウーロン茶を紹介。中国茶の変った淹れ方に子どもたちは興味津々。お抹茶体験では米澤洋子先生が年の初めにいただく大福茶をたてられ、七福神の掛け軸には無病息災や一年の祈念、願いが込められていると説明された。日本のお茶は中国から伝わった歴史の話もされ、お互いの文化に触れることができた。



あいサポーター研修

社会福祉協議会主催 講師 あいサポーターメッセンジャー 田中 秀幸さん

2/16

日常生活で障がいのある方が困っていることなどを例に話された。また、DVD視聴し、それぞれの障がいの特性を知り、手助けや必要な配慮の理解を深めることができた。



〈感想〉知らないことがたくさんあり、有意義な研修だった。手話や障がいのある方に関するマークなどを知り、参考になった。



賀露地区公民館は今年度「あいサポーター団体に」認定されました

湖東ブロック人権啓発推進協議会

今年度は千代水地区が当番でした。

人権啓発研修会

「超高齢者社会が抱える人権問題」

10/24

講師 菜の花総合法律事務所 弁護士 磯部 紗希さん

高齢者になると避けられないのが認知症です。認知症になると生活に支障がでてきます。そうなるを守ってくれるのは家族、地域の人そして法律です。高齢者が安心して暮らせる社会を作るために周りが早い段階で理解し、勉強して寄り添っていかなくてはならないと思います。



（網師かよ子）

人権啓発推進員研修

「児童虐待防止に係る鳥取市の取り組み」

11/23

講師 鳥取市健康こども部 こども家庭相談センター 所長 田中 隆志さん

近頃テレビや新聞のニュースで見ていると親族の児童虐待による死亡

事件が頻りに報道されている。あまり意識はしていなかったが最近急増しているように感じる。抵抗できないし、自分自身の子どもの対してなんでもいことをするのだから、信じられないと感じる人も少なくないはずである。しかし「子どもを虐待するなんて」と批判したところで問題は解決しない。なぜ虐待が起きてしまうのか。虐待する側にもそれなりの事情があるのかもしれない。それを解決しなければならぬだろう。こうした背景の中で今回県内に於ける児童虐待の現状について研修を受けた。その中の説明で児童相談所が受ける虐待の受付件数が5年前に比べて2倍になっていることを知り驚いた。県内においてこの結果は注意すべきだと思う。その他、児童虐待の気づきのポイント、気づいたときの対応、防止のための取り組みなどの説明があった。普段からわかっていると思っていたが、改めて情報の共有が大切だと感じた。ただ鳥取市の取り組みの具体例を詳しく聞きたいと感じた。（玉江 昭夫）



人権啓発協力員研修

「コロナが生んだ新しい日常」

11/27

講師 鳥取市人権情報センター

主任研究員 福壽みどりさん



新型コロナウイルス感染症の流行から一年が経ちました。新しい生活習慣が身についたと同時に、よく分からぬ不安、恐怖、感染が怖いという不安が



たその後の確かな対応ができています。コロナ禍の「その後」も見えて、安心して暮らせるまちづくりをめざしていきましょう。

（濱中 千景）

〈参加者感想〉

・まずは正しい知識を知ること。そして事実に基づいて行動。そこから始めたい。
・様々な人の立場を理解することが大切と感じた。物事はとらえ方ひとつで変わる。たくさん例でそう感じ考えるきっかけとなった。

ありがとうございました

人権啓発推進員として 森原すみ子



世の中には考えられない差別がまだ多くあり、解決が困難な問題があります。最近知ったのですが現在世界中で注目されている中国ウイグル自治区の問題です。ウイグル人は強制労働させられ女性は暴行され、まだまだ言えないような生活が毎日繰り返されています。大変な国際問題を抱えている国はたくさんあります。世界中に目を向け関心を持ち差別は許さない、また、さまざまな人権問題に気づき人として人権を守る国でありたいと望みます。

4年間勉強させていただきました。

今年度の実施状況(2020)

- 総会・書面表決 5月
- 協力員研修 11/27 (34名)
- 小地域座談会
 - 1区 DVD「いのちに寄り添う」 2/14
 - 2区 「いのちに寄り添う」 11/29
 - 4区 「ともに生きる私たちの未来」 2/20
 - 上浜 「いのちに寄り添う」 11/15
- 保小公連絡会 5/9 10/8 2/18
- 各種研修会参加
 - ・湖東ブロック研究集会(千代水) 10/24 (5名)
 - 「超高齢者社会が抱える人権問題」
 - ・湖東ブロック推進員研修(千代水) 1/23 (6名)
 - 「児童虐待防止に係る鳥取市の取り組み」
 - ・推進員研修(鳥取市、年2~5回) (5名)
 - ・人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会特別講座 9/25 (2名)
 - 「新型コロナウイルス感染症問題の偏見や差別から学ぶ」
 - ・鳥取県人権教育アドバイザー及び市町村人権教区担当者研修会 12/15 (2名)
- 啓発活動
 - ・人権啓発だより 17号発行
 - ・公民館だよりの活用
 - ・人権図書購入
 - ・ホームページ掲載